

社団法人 農村環境整備センター 主催

平成 21 年度 「田んぼの学校」 指導者養成研修 (現場指導者コース②)

～参加者募集のご案内～

「農地・水・環境保全向上対策」にかかる活動などで、
農業農村を活用した環境教育活動等を
安全に楽しく実施するためには、
自然体験活動の指導にかかる知識と技術が必要です。

この研修は、フィールドでの実習を中心に
自然体験活動の指導にかかる知識や技術を学ぶものです。

多くの方のご参加をお待ちしています。

この研修で学ぶ技術は、住民参加型で行う各種計画づくりやワークショップなどにも活用できます。
また、今回は、“自然体験活動として実施する「田んぼの生きもの調査」”の展開例も体験できます。



～ 農業農村整備分野、自然体験活動分野等との連携 ～

●農業農村工学会技術者継続教育機構

本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、10ポイントとなる見込みです。

●自然体験活動推進協議会 (CONE)

本研修は、CONE農林リーダー養成事業の認定申請中です。本研修修了者のうち、希望される方(ただし農林業経験者)は、CONE農林リーダーとしてCONEに登録できることになる見込みです。

●「農地・水・環境保全向上対策」

本研修の参加にかかる費用の支出は、「農地・水・環境保全向上対策」の経費として認められています。

この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の
助成金の交付を受けて行うものです。

1. 目的:

農業・農村を遊びと学びの場として活用する環境教育活動を実施する際の一般的な手順や留意すべき点、体験活動の指導方法等を理解し、実施に関わることができる人材を育成する。

2. 主催: (社)農村環境整備センター

3. 開催日: 平成21年8月27日(木) 13時45分開始
～28日(金) 15時00分終了 <1泊2日>

※つくばエクスプレスを利用される方は、バスで送迎します。
送迎バスを利用される場合、集合、解散は以下のとおりとなります。
27日(木) 13時00分「守谷駅」集合
28日(金) 15時30分「みらい平駅」到着(予定)

4. 会場: 古民家松本邸および寺畑ふるさと会館(茨城県つくばみらい市筒戸および寺畑)

※上記のとおり、最寄り駅からバスで送迎します。お車でお越しの方には別途ご案内します。

5. 対象者: 「田んぼの生きもの調査」の実施など、農村地域での体験活動の指導を行う役割を担っていかうとされている方。このような役割を担うことを期待されている方。また、農業・農村を遊びと学びの場として活用する環境教育「田んぼの学校」や「子ども農山漁村交流プロジェクト」に現場指導者として関わっていかうとする方。

※国・県・市町村で農業農村整備や農村振興等にかかわる技術者はもとより、「農地・水・環境保全向上対策」活動組織や水土里ネット、NPO、農業者等を広く対象とします。

6. 定員: 30名(最少催行人員15名)

7. カリキュラム: 4ページのとおり

8. 参加費: 受講料5,000円、食事代等2,500円(1日目夕食、交流会、2日目昼食)

★宿泊は、以下のいずれかを選択していただきます。

	松本邸	セミナーハウス常総
特徴	江戸時代に建てられた茅葺きの古民家	研修施設
アメニティ等	風呂・トイレ(共同)。洗面用具・タオル・パジャマ等は各自で用意。	各室風呂・トイレあり。洗面用具、タオル、ゆかた等あり。
部屋	男女別の相部屋	4人の相部屋 シングル利用応相談
料金	1,500円(朝食付き)	7,140円(朝食付き) シングル利用の場合は8,925円
その他	セミナーハウス常総にお泊まりの方は、21:00に松本邸を出発することになります。交流会を長く楽しみたい方は、松本邸にお泊まりください。	

※受講料および食事代の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。なお、宿泊については各自精算してください。

9. 申込み・問合せ：

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送りください。

8月18日(火) 18:00を締め切りとします。

(社)農村環境整備センター 環境教育・広報G 宛
 【FAX宛先】03-5645-3675
 【メール宛先】kankyoku-kg2@acres.jp

申込用紙は、当センターホームページ (<http://www.acres.or.jp> トップページ「お知らせ」) でダウンロードすることもできます。

お問合せは、(社)農村環境整備センター 環境教育・広報G 森田または加納までお願いします。

TEL 03-5645-3671 E-mail kankyoku-kg2@acres.jp

10. 申込の受理および受講決定：

お申し込みは先着順に受理します。

最少催行人数に達せず中止となる場合は、8月19日(水)にご連絡させていただきます。

協力団体および講師のご紹介

◇協力団体

NPO 法人 古瀬の自然と文化を守る会

茨城県つくばみらい市寺畑地区、筒戸地区を中心に、農村の環境や文化、生態系を復元し、エコミュージアムとして後世に伝えていくことを目的に活動している。地元の小学校や近隣の新興住宅地の住民、都市住民などと連携し、農村体験や自然体験活動を幅広く展開。これらの体験活動や交流事業は、都市住民によるサポーター制度や出張朝市など、ゆるやかでユニークな農村振興の取組みにもつながっている。平成16年度田圃自然再生活動コンクール農林水産大臣賞受賞、平成18年度地域づくり総務大臣表彰、平成18年度オーライ！ニッポン大賞審査委員長賞受賞。平成21年度から農山漁村地域力発掘支援モデル事業にも取り組んでいる。

◇講師

・井東 敬子 リードクライム株式会社取締役、環境教育コンサルタント

JTB、JVC山形を経て、1999年よりホールアース自然学校の職員となる。自然体験型環境教育の専門家として、インタープリターの養成、国設の自然学校第一号「環境省 田貫湖ふれあい自然塾」の立ち上げ等を行う。10年にわたり、(社)農村環境整備センター主催「田んぼの学校」指導者養成研修の講師をつとめている。

<資格>環境省 環境カウンセラー、自然体験活動推進協議会 トレーナー1種、プロジェクト・ワイルド ファシリテーター、プロジェクト・ウェット ファシリテーター、産業カウンセラー

・当センターの「田んぼの生きもの調査」の担当者、「田んぼの学校」の担当者も講師として参加します。

*これまで、自然体験活動等の指導経験がない、あるいは、少ない方を対象としたカリキュラムとしています。研修運営もこのような点から十分に配慮いたしますので、自然体験活動や、体験型の研修に不慣れな方も安心してご参加ください。

*屋外での実習が多いため、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具(セパレート型のレインウエア等)もご準備ください。

カリキュラム

【1日目：8月27日(木)】

時間	講義・実習	概要
13:00	【送迎バス利用の方】つくばエクスプレス「守谷駅」集合	
13:45～14:00	開始・オリエンテーション	
14:00～15:00	アイスブレイク	うちとけあいの時間。活動の導入方法(うちとけあい、雰囲気づくり、参加者を知る)を学びます。
15:00～17:45	自然体験活動の基礎技術① ～農村の環境、農家のくらしを体験プログラムに～	自然体験活動の基礎技術や農村地域の自然体験活動の組み立て方について学びます。今回は、農家にとっては困りものだけれど、子どもたちは大好きな“アメリカザリガニ”や“農家の日々のちょっとした作業”を、楽しく学びある体験の題材にします(アメリカザリガニは美味しく調理して食べます)。
17:45～19:00	休憩、配膳～食事	
19:00～20:00	自然体験活動の基礎技術② ～静かに深く自然を味わう～	言葉による解説に頼らず、静かに深く自然を味わう夜の散策プログラムを体験し、自然体験活動の指導法などを学びます。
20:00～21:00	交流会	参加者同士の学び合いの時間です。参加者それぞれの活動の課題や悩みなど、自由に情報交換をします。
21:00	【セミナーハウス常総】に宿泊の方はバスにて移動	

【2日目：8月28日(木)】

時間	講義・実習	概要
7:00～8:00	朝食	
8:10～8:30	移動	
8:30～11:00	自然体験活動の基礎技術③ ～自然体験活動としての「田んぼの生きもの調査」の展開例～	モデルプログラム“生きものに詳しくなくてもできる「田んぼの生きもの調査」”を体験しながら、自然体験活動の仕組み方、伝える技術、指導法などについて学びます。
11:00～12:00	活動の組み立て ～プログラムデザイン～	活動を組み立てる際の考え方や、活動実施の基本的な手順について学びます。
12:00～12:40	昼食	
12:40～14:10	安全管理	活動全体の安全管理と、現場での安全管理に必要な知識と技術を学びます。
14:10～15:00	まとめとふりかえり	2日間の体験で学んだ内容について整理します。
15:00	【送迎バス利用の方】つくばエクスプレス「みらい平駅」に向け出発	

* ご参加のみなさんの関心や立場、経験等も考慮し、また体調などうかがいながら実施しますので、カリキュラムは一部変更することがあります。また、とくに実習部分については、当日の気象状況等によって、変更することがあります。予めご了承ください。